

2024年5月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2024年3月25日

上場会社名 株式会社大光 上場取引所 東
 コード番号 3160 URL <https://www.oomitsu.com>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 金森 武
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員管理本部長兼総務部長 (氏名) 秋山 大介 TEL 0584-89-7777
 四半期報告書提出予定日 2024年4月11日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年5月期第3四半期の連結業績(2023年6月1日～2024年2月29日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する 四半期純利益 | |
|---------------|--------|------|------|------|------|------|----------------------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2024年5月期第3四半期 | 51,748 | 9.9 | 688 | 56.9 | 727 | 51.1 | 358 | 36.0 |
| 2023年5月期第3四半期 | 47,084 | 17.2 | 438 | | 481 | | 263 | |

(注) 包括利益 2024年5月期第3四半期 438百万円 (45.3%) 2023年5月期第3四半期 301百万円 (%)

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益 |
|---------------|-------------|------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2024年5月期第3四半期 | 24.42 | |
| 2023年5月期第3四半期 | 19.90 | |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|---------------|--------|-------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 2024年5月期第3四半期 | 22,864 | 5,683 | 24.9 | 387.08 |
| 2023年5月期 | 20,499 | 5,406 | 26.4 | 368.20 |

(参考) 自己資本 2024年5月期第3四半期 5,683百万円 2023年5月期 5,406百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|--------------|--------|--------|--------|------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2023年5月期 | | 4.50 | | 5.50 | 10.00 |
| 2024年5月期 | | 5.50 | | | |
| 2024年5月期(予想) | | | | 5.50 | 11.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年5月期の連結業績予想(2023年6月1日～2024年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する 当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|--------|-----|-------|------|-------|------|---------------------|------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 70,300 | 8.4 | 1,070 | 40.4 | 1,120 | 36.6 | 620 | 46.1 | 42.22 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想の修正については、本日(2024年3月25日)公表いたしました「連結子会社における営業損失の計上及び業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|-------------------|------------|--------------|------------|--------------|
| 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 2024年5月期3Q | 14,883,300 株 | 2023年5月期 | 14,883,300 株 |
| 期末自己株式数 | 2024年5月期3Q | 200,012 株 | 2023年5月期 | 200,012 株 |
| 期中平均株式数(四半期累計) | 2024年5月期3Q | 14,683,288 株 | 2023年5月期3Q | 13,250,788 株 |

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 3 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 6 |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第3四半期連結累計期間 | 6 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第3四半期連結累計期間 | 7 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 8 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 8 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 8 |
| (追加情報) | 8 |
| (セグメント情報等) | 9 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、経済活動の正常化が進み、景気は緩やかな回復基調で推移しました。しかしながら、円安傾向の継続やロシア・ウクライナ情勢に起因する資源・原材料価格の高騰、物価上昇による消費マインドの低下が懸念されるなど、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

当社グループの主要販売先である外食産業におきましては、インバウンド需要の回復や、飲食店や観光地への人流増加、企業活動の活発化などを背景に、客足は回復基調が継続しております。一方、原材料価格や物流費の上昇、慢性的な人手不足は改善しておらず、消費者の生活防衛意識の高まりなどから今後の消費動向が懸念されております。

このような環境のなか、業務用食品等の卸売事業である「外商事業」においては、既存得意先との深耕を図るとともに、多様な外食産業に対する新規開拓に注力してまいりました。また、業務用食品等の小売事業である「アマカ事業」においては、新規店舗を開業するとともに、品揃えの充実化や営業活動の強化など、来店客数の増加に向けた取り組みを進めてまいりました。

両事業におきましては、収益性の向上を図るため、当社プライベートブランド商品や業務用食品販売事業者の共同オリジナルブランド商品の販売強化と全社的な業務の効率化を継続して行っておりまいりました。

さらに、水産品の卸売事業である「水産品事業」では、連結子会社である株式会社マリンドリカにおいて、既存得意先との深耕を図るとともに、新規得意先の開拓など販路の拡大に取り組んでまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は517億48百万円（前年同期比9.9%増）、営業利益は6億88百万円（前年同期比56.9%増）、経常利益は7億27百万円（前年同期比51.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は3億58百万円（前年同期比36.0%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

(外商事業)

当事業におきましては、外食需要の回復に伴い当事業を取り巻く経営環境は改善が進み、急増する顧客ニーズに対応した商品提案に注力するとともに、既存得意先との深耕や、給食、病院、中食など幅広い業態への新規開拓に注力してまいりました。また、提案型営業を強化するため商品知識の向上に取り組むほか、業務の効率化による人件費の削減や物流費をはじめとした経費の抑制に取り組み、収益性の向上を図ってまいりました。

この結果、外商事業の売上高は334億64百万円（前年同期比14.4%増）、営業利益は3億77百万円（前年同期は営業損失17百万円）となりました。

(アマカ事業)

当事業におきましては、外食需要の回復に対応し外食事業者向けの品揃えの充実化や営業活動の強化を図るとともに、メーカーフェア等の販売施策の展開、SNSを活用した販促活動の強化、家庭内消費に適したアイテム拡充など、外食事業者から一般消費者まで幅広いお客様にご利用しやすい店舗運営に努めてまいりました。

新規出店については、2023年6月に富士店（静岡県富士市）、同年10月には冷凍スイーツに特化した新業態店舗である*Reica*岐阜田神店（岐阜県岐阜市）を開業いたしました。

この結果、アマカ事業の売上高は171億56百万円（前年同期比8.6%増）、営業利益は14億3百万円（前年同期比24.8%増）となりました。

なお、当第3四半期連結会計期間末の店舗数は、愛知県・岐阜県を中心として51店舗であります。

(水産品事業)

当事業におきましては、連結子会社である株式会社マリンドリカにおいて、大手水産会社をはじめとする既存得意先との深耕を図るとともに、新規開拓の強化に努めてまいりました。また、採算管理の徹底や経費抑制に取り組み収益性の向上を図るとともに、外商事業及びアマカ事業と連携し当社グループの水産品ラインナップ強化を推進してまいりました。

しかしながら、2023年8月にALPS処理水の放出を受けて中国政府が日本産水産物の輸入を禁止した影響により、当事業においても中国向けの輸出販売を停止したことや、商品相場下落の影響などから棚卸資産の評価損等が発生したことから、売上高及び営業利益は減少しました。

この結果、水産品事業の売上高は12億37百万円（前年同期比41.6%減）、営業損失は3億13百万円（前年同期は営業利益66百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の資産残高につきましては、前連結会計年度末と比較して現金及び預金が2億48百万円増加したものの、受取手形及び売掛金が5億75百万円減少したこと等により、流動資産は全体で3億20百万円減少しました。一方固定資産は、建物及び構築物が20億84百万円増加したこと等により、全体で26億85百万円増加しました。その結果、資産総額は前連結会計年度末と比較して23億64百万円増加し、228億64百万円となりました。

(負債)

負債残高につきましては、前連結会計年度末と比較して支払手形及び買掛金が2億66百万円、短期借入金が1億53百万円減少したこと等により、流動負債が全体で4億35百万円減少しました。一方固定負債は、長期借入金が25億18百万円増加したこと等により、全体で25億22百万円増加しました。その結果、負債総額は、前連結会計年度末と比較して20億87百万円増加し、171億80百万円となりました。

(純資産)

純資産残高につきましては、前連結会計年度末と比較して利益剰余金が1億96百万円増加したこと等により、2億77百万円増加し、56億83百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年5月期の業績予想につきましては、2023年9月25日に公表の業績予想を修正しております。詳細は、本日別途公表の「連結子会社における営業損失の計上及び業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2023年5月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (2024年2月29日) |
|-------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 629,735 | 878,703 |
| 受取手形及び売掛金 | 5,984,107 | 5,408,630 |
| 有価証券 | 121,881 | 100,050 |
| 商品 | 4,612,669 | 4,753,029 |
| 貯蔵品 | 80,278 | 19,373 |
| その他 | 1,134,621 | 1,084,106 |
| 貸倒引当金 | △4,558 | △6,016 |
| 流動資産合計 | 12,558,736 | 12,237,878 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物(純額) | 3,213,174 | 5,297,433 |
| その他(純額) | 1,807,987 | 2,080,837 |
| 有形固定資産合計 | 5,021,162 | 7,378,270 |
| 無形固定資産 | 23,436 | 24,454 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 1,055,607 | 1,125,674 |
| その他 | 1,849,007 | 2,105,987 |
| 貸倒引当金 | △8,221 | △7,839 |
| 投資その他の資産合計 | 2,896,393 | 3,223,823 |
| 固定資産合計 | 7,940,991 | 10,626,548 |
| 資産合計 | 20,499,727 | 22,864,426 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2023年5月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (2024年2月29日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 6,665,257 | 6,398,290 |
| 短期借入金 | 1,894,000 | 1,740,500 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 1,136,124 | 1,189,927 |
| 未払法人税等 | 240,194 | 226,740 |
| 賞与引当金 | 243,837 | 130,575 |
| その他 | 1,285,448 | 1,343,299 |
| 流動負債合計 | 11,464,861 | 11,029,333 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 1,897,214 | 4,415,798 |
| 役員退職慰労引当金 | 306,983 | 322,013 |
| 退職給付に係る負債 | 423,734 | 438,268 |
| 資産除去債務 | 514,809 | 520,816 |
| その他 | 485,744 | 454,585 |
| 固定負債合計 | 3,628,486 | 6,151,482 |
| 負債合計 | 15,093,347 | 17,180,816 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 1,482,063 | 1,482,063 |
| 資本剰余金 | 1,385,862 | 1,385,862 |
| 利益剰余金 | 2,472,294 | 2,669,289 |
| 自己株式 | △33,904 | △33,904 |
| 株主資本合計 | 5,306,316 | 5,503,311 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 82,840 | 166,060 |
| 繰延ヘッジ損益 | 408 | — |
| 退職給付に係る調整累計額 | 16,814 | 14,237 |
| その他の包括利益累計額合計 | 100,063 | 180,298 |
| 純資産合計 | 5,406,380 | 5,683,610 |
| 負債純資産合計 | 20,499,727 | 22,864,426 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自 2022年6月1日 至 2023年2月28日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 2023年6月1日 至 2024年2月29日) |
|------------------|---|---|
| 売上高 | 47,084,326 | 51,748,606 |
| 売上原価 | 38,025,216 | 41,833,369 |
| 売上総利益 | 9,059,109 | 9,915,237 |
| 販売費及び一般管理費 | 8,620,486 | 9,227,153 |
| 営業利益 | 438,622 | 688,083 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 8,751 | 8,905 |
| 受取配当金 | 7,074 | 8,007 |
| 受取賃貸料 | 70,337 | 72,188 |
| 受取手数料 | 16,270 | 16,896 |
| 受取保険金 | — | 14,176 |
| 助成金収入 | 566 | — |
| その他 | 19,413 | 19,670 |
| 営業外収益合計 | 122,414 | 139,845 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 15,145 | 18,799 |
| 賃貸費用 | 51,824 | 51,822 |
| 固定資産除売却損 | 5,276 | 8,901 |
| その他 | 7,361 | 20,939 |
| 営業外費用合計 | 79,609 | 100,462 |
| 経常利益 | 481,427 | 727,466 |
| 特別利益 | | |
| 国庫補助金 | 29,260 | — |
| 特別利益合計 | 29,260 | — |
| 特別損失 | | |
| 投資有価証券評価損 | 19,796 | — |
| 損害賠償金 | 35,000 | — |
| 固定資産圧縮損 | 29,260 | — |
| 特別損失合計 | 84,056 | — |
| 税金等調整前四半期純利益 | 426,631 | 727,466 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 104,793 | 318,525 |
| 法人税等調整額 | 58,169 | 50,429 |
| 法人税等合計 | 162,963 | 368,954 |
| 四半期純利益 | 263,667 | 358,511 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 263,667 | 358,511 |

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自 2022年6月1日 至 2023年2月28日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 2023年6月1日 至 2024年2月29日) |
|-----------------|---|---|
| 四半期純利益 | 263,667 | 358,511 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 20,236 | 83,220 |
| 繰延ヘッジ損益 | 20,372 | △408 |
| 退職給付に係る調整額 | △2,323 | △2,576 |
| その他の包括利益合計 | 38,286 | 80,234 |
| 四半期包括利益 | 301,954 | 438,746 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 301,954 | 438,746 |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(財務制限条項)

当社グループの借入金のうち、シンジケートローン（当第3四半期連結会計期間末残高2,500,000千円）には、以下の財務制限条項が付されております。

1. 各年度の決算期の末日における連結及び単体の貸借対照表における純資産の部の金額を2023年5月決算期末日における連結及び単体の貸借対照表上の純資産の部の金額の75%の金額以上に維持すること。
2. 各年度の決算期の末日における連結及び単体の損益計算書に示される経常損益がいずれも2期連続して損失とならないようにすること。

なお、当第3四半期連結会計期間末において上記財務制限条項には抵触しておりません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間 (自2022年6月1日 至2023年2月28日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

| | 報告セグメント | | | | その他 (注) 1 | 調整額 (注) 2 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3 |
|-------------------|------------|------------|-----------|------------|--------------|--------------|--------------------------------|
| | 外商事業 | アミカ事業 | 水産品事業 | 合計 | | | |
| 売上高 | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 29,263,596 | 15,788,845 | 2,020,466 | 47,072,908 | 11,417 | — | 47,084,326 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | 648 | 14,446 | 98,076 | 113,171 | — | △113,171 | — |
| 計 | 29,264,245 | 15,803,292 | 2,118,542 | 47,186,080 | 11,417 | △113,171 | 47,084,326 |
| セグメント利益又は損失 (△) | △17,371 | 1,124,448 | 66,806 | 1,173,883 | 4,911 | △740,172 | 438,622 |

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、太陽光発電事業を含んでおりません。

2. セグメント利益又は損失 (△) の調整額△740,172千円は、当社の本社経費等であります。

3. セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間 (自2023年6月1日 至2024年2月29日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

| | 報告セグメント | | | | その他 (注) 1 | 調整額 (注) 2 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3 |
|-------------------|------------|------------|-----------|------------|--------------|--------------|--------------------------------|
| | 外商事業 | アミカ事業 | 水産品事業 | 合計 | | | |
| 売上高 | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 33,463,685 | 17,132,829 | 1,140,872 | 51,737,387 | 11,219 | — | 51,748,606 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | 360 | 23,531 | 96,763 | 120,654 | — | △120,654 | — |
| 計 | 33,464,045 | 17,156,360 | 1,237,635 | 51,858,042 | 11,219 | △120,654 | 51,748,606 |
| セグメント利益又は損失 (△) | 377,906 | 1,403,822 | △313,593 | 1,468,136 | 5,385 | △785,438 | 688,083 |

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、太陽光発電事業を含んでおりません。

2. セグメント利益又は損失 (△) の調整額△785,438千円は、当社の本社経費等であります。

3. セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。